
国 語 科

1 教科で身に付けたい力

普段何気なく使っている「言葉」を、論理的に学びます。他の人に分かりやすく伝える「話し方」「書き方」や、書いてある文章を客観的に読み取る力を身につけます。また、他の人の意見を聞いて自分の考えを広げていきましょう。

《知識・技能》

漢字や文法、ことわざなどの日本語の使い方を学びます。また、古文や漢文など、日本の伝統的な文化に触れ、豊かな感性を身につけます。

さらに、学習した知識や情報の扱い方を学びます。

《思考・判断・表現》

場面や目的に応じた話し方や聞き方を学びます。そして、課題解決のための話し合いの方法を身につけます。

また、目的に応じた書き方を学びます。論理的な文章と芸術的な文章、それぞれの特性を生かした文章を書く力を身につけます。

そして、様々な文章を読み、内容や表現の仕方を学びます。

《主体的に学びに取り組む態度》

学習に対して粘り強く取り組む姿勢、学習したことを深めたり、広げたり、活用したり、自分の学習を調整しようとする態度を養います。

2 学校では …

(1) メモをよくとろう

黒板に書かれたことを板書することの他に、授業中先生が言ったことや他の人の意見で「なるほど」と思ったことはどんどんメモをとりましょう。そのメモを復習の時に見

返して、自分の学びを深めてください。

(2) 「話し合い」と「学び合い」を区別しよう授業では、4人組で学び合う「カルテット」を実施しています。問題を解いていて分からないことがあったら、カルテット内の人に訊いてください。教える側は、訊かれたら「解き方」を教えましょう。それが「学び合い」です。

また、国語では「話し合い」活動が行われます。司会・記録・発表の役割を決めて自分たちの考えをまとめる活動が「話し合い」です。この二つの活動を区別して、考える力や伝える力を高めましょう。

3 家では …

(1) 様々な文章に触れよう

日頃から新聞や小説、インターネットの記事など様々なジャンルの文章に慣れ親しんでください。そして、教科書の文章はぜひ音読しましょう。古典では特有の言い回しやリズムをつかむのに有効です。

(2) 分からない言葉を調べよう

日頃から、分からない言葉を見つけたら調べてみましょう。紙の辞書の方が力がつきますが、インターネットでもかまいません。知っている言葉が増えれば、自分が文章を書くときや読むときの助けになります。

(3) 出された課題を丁寧にやりきろう

漢字ノートや文法ワーク、対策プリントなどの決められた範囲を定期考査までに提出します。また、小テストも実施されますので、こまめに家庭学習で進めましょう。

また、週末課題や長期休暇でも宿題が出されますので、しっかりやりきって「なぜその答えになるのか」他の人に説明できるまで丁寧に取り組んでください。

社 会 科

1 教科で身に付けたい力

◎社会を学習する意義と目的

中学校で社会を学習する目的は、社会的な見方・考え方を働かせ、国際社会の中で生きる日本国民としての資質・能力の基礎を身につけることです。

◎社会科の3分野

【地理的分野】(主に1・2年生で学習)

世界や日本の各地域について、自然や産業、人々の生活のようすを中心に学習します。

【歴史的分野】(主に1・2年生で学習)

主に日本の歴史について学びます。時代によって変化する人々の暮らしや文化、政治や社会のしくみについて学習します。

【公民的分野】(3年生で学習)

現代社会を理解するために、日本国憲法や法律、政治や経済、国際社会のしくみについて学習します。

2 学校では …

◎授業の進め方や注意点など

(1) 授業は、「山中カルテット」で進めます。基礎的・基本的な学習内容については〈共有の課題〉で、発展的・追究型の課題として〈ジャンプ課題〉を、それぞれ設定しています。カルテットのメンバーと協力して、それぞれの課題に取り組んでいきます。

(2) 授業では、毎時間「学習プリント」が配られます。復習やテスト勉強時に見返して分かりやすいように、自分なりに工夫して「学習プリント」を仕上げてください。

また、「学習プリント」は、成績評価の対象になるので、紛失等がないように注意してください。

(3) 日々の振り返りシートと、単元ごとの振り返りを今年度も継続して行います。多くの人が非常に丁寧に取り組んでいました。今年度も引き続き、頑張りましょう。

(4) 山城町には、歴史的に重要な遺跡が数多く存在しています。社会の授業や「ふるさと学習」(総合的な学習の時間)でフィールドワーク等、校外で学習する機会もあります。

◎ 授業に必要なもの

- ・教科書 ・授業プリントをとじるファイル
- ・ワーク ・地図帳(地理分野のみ)
- ・筆記用具

3 家では …

◎ 家庭学習のポイントや注意点など

(1) 授業で学習したことを必ず〈復習〉してください。教科書や学習プリントを見返したり、学習内容を自分なりに自主学習ノートにまとめるのも効果的です。また、ワークの問題を自力で解答し、解答解説冊子をよく読むことも大切です。

(2) 定期的に授業内で〈小テスト〉を行います。小テストに向けて、家庭でのこまめな学習が必要になります。

(3) テレビや新聞、インターネット等、様々なメディアを通して、「今の社会で起こっていること」を知り、疑問点などを自分なりに調べましょう。

数 学 科

1 教科で身に付けたい力

- ① 数量、図形などに関する基礎的な知識や考え方の理解を深める
 - ② 数学的な表現や処理の仕方を身につけ、数学的に考える能力を高める。
 - ③ 数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方の良さを知り、それらを進んで活用する力を付ける。数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深める。

2 学校では …

(1) 準備物を忘れない

教科書・ノート・問題集・筆記用具・CRE 観点別ミニテスト（ファイルも）・ファイルを忘れずに持ってきてましょう。その他にも、コンパス・分度器など分野によって必要なものがあります。

(2) 最後まであきらめず取り組む

「難しそうだな…」と思ってもしっかり問題文を読みましょう。数学は、答えは1つですが解き方は一つではありません。あなたの考え方がどのように答えにつながるのかわかりません。様々な考えが答えに結びついています。自信をもって取り組みましょう。

(3) 質問や説明ができるようにする。

分からないことをそのままにしていはいけません。恥ずかしがらずにまずは友達に質問しましょう。また、友達に聞かれたら自分の言葉で相手が分かるまでわかりやすく説明できるようにしましょう。そうすることでお互いの理解が深まります。

3 家では …

(1) 習ったことはその日のうちに復習する
分かったつもりでも、時間がたつと忘れてしまいます。宿題は、その日の授業に関連することが多いですから、復習もかねて必ずその日のうちにするようにしましょう。また、宿題が出てなくてもリピート問題集の授業でやった問題をもう一度やってみるなど復習しておくことで学習内容が定着します。

(2) 毎日欠かさず解き続ける

数学の授業は毎日あるわけではありません。授業のある日だけでなく、数学の問題は毎日解き続けることが大切です。解く問題数が多ければ多いほど良いです。一日 5 問、10 問、問題集 1 ページなど自分で決めて毎日続けましょう。

4 提出物について

毎日の学習の振り返りができているか、定期的に問題集の提出があります。丸付け、直しをした上で、提出日に間に合うように提出できるようにしましょう。その他適宜ノートやレポートなどの提出物があります。

5 評価について

定期テストだけで評価がつくわけではありません。日頃の授業態度や提出物、CRE の単元テストなど、様々なものを見て総合的に評価をしています。毎日の学習が評価に繋がりますので、気を引き締めて取り組んでください。

理 科

1 教科で身に付けたい力

- ①仮説を立て、何を確かめるためのものなのか目的意識をもちながら、安全に観察・実験を行う力
- ②科学的な見方、考え方を使って、自然事物・現象を科学的に探究する力
- ③自然事象に興味を持ち、自分たちの生活や社会と関連づけて理解する力
- ④学んだことを他者に伝える力

2 学校では …

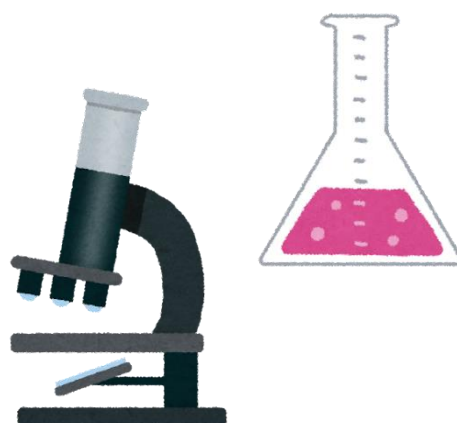
- (1)忘れ物をしない。
忘れ物をすると学習できなくなり、自分や周りの人が困ります。
タブレット端末は毎日、家で充電をしてきましょう。
- (2)山中カルテットを通して、自分の力を伸ばしていこう。
分からないことは、自ら訊き、授業時間のうちに解決しよう。
- (3)実験・観察に積極的に取り組もう。
安全に観察・実験を行うことはもちろんのこと、仮説を立てること、結果から考察を考えることを意識しよう。
- (4)次の学習につながるような振り返りを大切にしよう。
うまくいったことやうまくいかなかったことを具体的に振り返り、次の学習につなげよう。

3 家では …

- (1)復習をしっかりとしよう。
教科書を読み返したり、プリントに言葉や図を付け足したり自分で工夫しよう。
- (2)積極的に課題に取り組もう。
自分の能力を高めるためだと思って課題に取り組もう。問題集は授業の進行に合わせて計画的に学習していこう。
- (3)新聞、ニュース、インターネット等で科学に関することを探して、見聞きしよう。
今、自分が学習していることが、日常生活でどんなことにつながっているのか。
最先端の科学技術はどのように使われ、利用されているのか。社会や世界に興味を持とう。

4 評価について

定期テスト、小テスト、単元テスト、パフォーマンステスト、レポート、宿題、ワークシート、プレゼンテーションや授業への取り組み方等を総合的に評価します。



音 楽 科

1 教科で身に付けたい力

- ① 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽への興味や関心を養うとともに、生活を明るく楽しいものにしようとする態度を身につける。

② 音楽の良さや美しさを感じ取り、基礎的な表現技能を工夫していく能力を培う。

③ さまざまな音楽に興味・関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てる。

2 学校では …

歌唱

○斉唱や合唱を合わせながら楽しく歌唱していく。仲間と声を合わせる楽しさを追求させることで、表現技能を高める。

器楽

○アルトリコーダーを中心に演奏技術の向上を目指す。個人演奏やグループでの演奏を楽しむ。

鑑賞・創作

○さまざまなジャンルの曲を聴いたり、イメージを膨らませて曲やリズムづくりをしてその楽しさを味わう。

3 評価として

○実技だけで評価をするではありません。授業に対しての前向きな姿勢、授業を大切にする意欲を見ていきます。苦手なことも学びあい、幅広い音楽表現ができるようにしましょう。

美 術 科

1 教科で身に付けたい力

- ① 美しさを感じとり、創り出そうとする態度を身につける。

② 個性を大切にし、豊かな人間性を身につける。

③ 豊かにイメージし、表現する技能を身につける。

2 学校では …

(1) 忘れ物をしない。忘れ物があると制作を進める事ができません。

(2) 安全に気をつけて制作する。また、備品を教室外に持ち出すことは禁止です。

(3) 作品を大切に扱う。時間と心をこめて、全力で制作に向かいましょう。

(4) 物を大切に扱う。使用した用具はきれいにしてから元の場所に返却し、机の周辺は責任をもって後片付けをして終わりましょう。

3 評価として

日々の積み重ねが、結果として評価につながります。準備の段階から学習は始まっています。しっかり意識を持って授業に臨みましょう。

4 美術室でのルール

(1) 他人の物や美術室にある物を
勝手に触りません。

(2) 自分の授業・部活動・委員会など以外
勝手に美術室に立ち入りません。

保健体育科

1 教科で身に付けたい力

心と体を一体としてとらえ、健全な心身の発達を促し、明るく豊かで生きがいのある生活を営むため、生涯を通じて運動に親しむことができる能力や態度を育てる。美しさを感じとり、創り出そうとする態度を身に付ける。

2 学校では …

体育分野

- (1) 準備運動（ランニング・ラジオ体操・補強運動）と各単元において、体力と技能の向上を目指し、一生懸命に挑戦する力を高めます。
- (2) 発表したり評価し合ったりすることで、課題や成果に気づき、「出来なかったことが出来るようになる」楽しさを体感します。

保健分野

- (1) 生涯を通じて自らの健康を保持増進していくための実践力の基礎を身につける。

3 家では …

体育分野

- (1) ランニングや、ウォーキング、ストレッチ等、体力の向上にコツコツと取り組みましょう。
- (2) 地域の運動会やスポーツイベント等に積極的に参加しましょう。
- (3) テレビ等を通じて、スポーツ観戦をし、運動に親しみを持つと共に、ルールや技術の名称等を覚えましょう。

保健分野

ニュースから得られる情報（熱中症、インフルエンザ等）を元に、自ら健康の保持増進に努める。

技術家庭科

1 教科で身に付けたい力

技術分野

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

家庭分野

衣食住に関わる学習活動を通じて、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識や技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、生活をより良くしていくための技能や態度を身に付ける。

2 学校では …

技術分野

- (1) ものづくり・エネルギー変換

学習したことをしっかりまとめ自分独自のテキストを作成します。授業のチャイムがなるまでに準備を終えて予習をします。

安全に注意し、時間を厳守し、正確な作品に仕上げます。

- (2) 情報

チャイムがなるまでにキー入力の練習やプログラミングなどの復習をし、授業では学習したことをしっかりまとめ独自のテキストを作成します。

3 家では …

授業の予習や復習をする必要はありません。家族の手伝いをしましょう。人を手伝うのが技術の能力を最も高める方法です。

英 語 科

1 教科で身に付けたい力

中学の3年間で、英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」などのコミュニケーション能力の基礎を養います。

中学校を卒業する時点で、

◆はっきりと話されれば、話の概要などを「聞き」とれる。

◆簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要などを「読み」とれる。

◆簡単な語句や文を用いて、自分の考えなどを「発表」できる。

◆簡単な語句や文を用いて、自分の考えなどを「やり取り」できる。

◆簡単な語句や文を用いて、自分の考えなどを「書く」ことができる。

この5つの目標を実現します。

2 授業の受け方

(1) 授業に真剣に向き合う。

英語力を伸ばすためには、まず、授業に集中することが大切です。そのためには、授業に真剣に向き合い続ける姿勢が求められます。以下のことに取り組みましょう。

*準備物を必ず持ってくる。

*先生の説明や指示に「目」と「耳」を傾ける。

*提出物を必ず出す。

*4人組の活動に積極的に取り組む。

(2) 「わかる」から「できる」へ

学習内容が「分かっている（理解している）」だけでは、英語は使えません。「わかる」状態から、「できる」状態にする必要があります。英語は「技能」教科です。英文を音読したり書きとったり、実際に英語を使って話をしたり、どんどん練習しましょう。

3 家庭学習の仕方

(1) 教科書の文を音読しよう。

(2) 単語を書けるまで練習しよう。

(3) 日本語から英語にできるように練習しよう。

(4) やり直しを大切にしよう。

4 評価観点の変更

3つの観点で評価します。詳しくは授業で説明します。

<知識・技能>

理解した文法や表現を実際のコミュニケーションで活用できる。

<思考・判断・表現>

目的、場面、状況に応じて情報や考えを理解し、表現したり伝え合ったりできる。

<主体的に学習に取り組む態度>

外国語の背景にある文化を理解し、相手に配慮しながらコミュニケーションをとることができる。

【1年生 英検5級を目指そう】

各自で英検の問題に挑戦しましょう。

【2年生 学力診断テストがあります】

予習・復習を丁寧にし、力をつけていこう。

【3年生 英検3級を目指そう】

英検3級取得に挑戦しましょう。

